

③ 次世代型SCMシステム 実施内容 ～電子タグによる在庫管理とEDIを連携した、検品レス・伝票レスの取り組み

■実験のポイント

- ・EDIと電子タグを利用した在庫管理システムを連動させて運用する。
- ・メーカーや物流業者で行っていた、バーコードと電子タグの関連付け作業を出荷検品作業として定義・共通化、梱包ラベル（SCMラベル）を共通にして、検品レス・伝票レスを可能にする。
- ・データはEDIとインターネットで送信、SCMラベルを共用して作業の重複なく、EDIと電子タグを連動。

■実施内容

- ・納品代行業者の百貨店向け出荷レーンに電子タグ出荷システムを導入する。
- ・商品毎にJANコードと電子タグの個品IDを関連づける、「紐付け作業」を行う。
- ・出荷時点の検品情報は、会計データは事前出荷明細データとしてEDIで三越に送信され、個品データは個品出荷明細データとしてインターネット経由で三越に送信される。
- ・三越での入荷の際は、商品の梱包ラベルを読むことで、電子タグ入荷処理と会計的な検品レス・伝票レスが完了。

